

乳房再建 複数の方法

病院の実力

～茨城編 218

乳がん

手術前に薬物療法でがんを小さくして手術することもある。

全切除後の乳房再建は、おなかや背中、筋肉、脂肪などを移植する自家組織再建と、人工乳房を使った再建

に分けられる。部分切除も元の乳房に近い状態へ戻すため複数の方法がある。いずれの場合もメリット、デメリットがある。主治医とよく相談した上で選択することが重要だ。

ラジオ波焼灼療法は、患部に刺した針の先端から出る電磁波の熱で、がんを死滅させる。全切除や部分切除に比べ

て傷が小さく済むことから、体への負担が軽いという利点がある。乳がんは、早期に発見して適切な治療を受ければ、命にかかわるリスクを下げられる。40歳になったら2年に1回の検診を受けることが推奨される。乳房の形やしこりを確かめ、気になる症状があれば乳腺外科を受診してほしい。

ば乳腺外科を受診してほしい

乳がんの5～10%は遺伝性といわれる。家系に乳がん患者がいる場合、血縁関係が近いほど発症リスクは高くなる。遺伝子検査を受けることも検討したい。

全国の調査結果は7月19日の「からだ」面に掲載しました。

今回は乳がんを取り上げる。一覧表には、2025年の主な手術や乳房再建の実績、メスで切らずに治療する「ラジオ波焼灼療法」の実施状況を掲載した。

病院の実力「乳がん」

医療機関別2025年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名	乳がん手術	全切除術	再建手術		ラジオ波焼灼療法の 実施状況
			自家組織	人工乳房 (インプラント)	
	(件)	(件)	(件)	(件)	
茨城					
筑波大	323	218	8	51	○
水戸赤十字	220	87	0	0	△
筑波メディカルセ	190	125	8	11	
つくばセントラル	104	42	0	0	
土浦協同	74	57	1	0	
友愛記念	51	26	0	0	
筑波学園	21	0	0	3	
牛久愛和総合	10	6	0	0	
千葉					
国立がん研究セ東	533	287	27	14	○
三和	458	220	1	76	
亀田総合	409	223	2	70	
船橋市立医療セ	337	164	0	62	○
千葉大	253	145	17	4	
聖隷佐倉市民	194	90	0	10	△
順天堂大浦安	193	137	0	5	
国際医療福祉大成田	193	101	0	1	
千葉労災	159	91	0	0	
井上記念	156	75	0	6	
国保旭中央	114	61	0	2	
東京女子医大八千代医療セ	109	65	0	0	
君津中央	99	68	1	0	
慈恵医大柏	90	68	0	3	
東邦大佐倉	82	64	11	4	
千葉西総合	82	27	0	15	
新松戸中央総合	63	42	0	4	
おおたかの森	37	25	0	0	
松戸市立総合医療セ	32	22	0	0	△
栃木					
県立がんセ	352	226	14	6	
自治医大	279	192	38	53	△
済生会宇都宮	160	97	5	0	
独協医大	113	81	6	13	
新小山市民	107	59	0	0	
国際医療福祉大那須医療セ	63	37	1	4	

「セ」はセンター

◆ラジオ波焼灼療法の実施状況（実施している＝○、2026年度内に実施する予定＝△）